

目指す学校像

～スローガン～

『静高PRIDE: 静高生としての誇りと自信に満ちあふれた学校』

『静内でかなえる! 地域に愛され 地域になくてはならない学校』

学校教育目標

- 1 誇りと自信に満ちあふれた社会の形成者として、未来を創造する力を身に付ける。
- 2 地域を愛し、心身ともに自立した人間を育成する。
- 3 主体的に考え、協働し、真理の探究に努める。

スクール・ミッション

- 1 生徒の興味・関心、進路希望に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- 2 キャリア教育を通し、自己のキャリア形成により、自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択する生徒の育成
- 3 多様性の尊重が求められる時代・社会において、共感的・共生的な人間関係を構築し、地域社会・共生社会の担い手となる生徒の育成

育成すべき10の力

- 1 <自己肯定力> 自分の長所を認識し、積極的に物事に取り組み、将来の夢や目標に向かって努力する力。
- 2 <行動力> 自分がとるべき行動を理解し、自分の考えに基づき、周囲を巻き込んで行動する力。
- 3 <創造力> 未知の状況でも目的を達成するために、自らが直面した課題を解決する方法を創造する力。
- 4 <表現力> HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを伝わりやすいように工夫する力。
- 5 <郷土愛> 総合的な探究の時間に地域を題材とし、課題の設定からまとめ・表現を行い、地域を理解する力。
- 6 <自己管理力> 授業や行事の中で目標を理解し、最後に学習したことや自分の言動を振り返る力。
- 7 <思考力> HRやグループワーク等の活動により、自らの課題を発見し、その解決に向けて自分の考えを深め、広げ、論理的に考える力。
- 8 <言語力> HRやグループワーク等の活動により、自分の考えを他者に伝え、建設的に意見を生み出す力。
- 9 <分析力> 情報活用能力を駆使し、事実を客観的に分析・検証し、結果を提案する力。
- 10 <道徳心> 授業や行事において、自分たちで考え、話し合う活動により、道徳的に判断する力・心。

重点目標

- 1 基本的生活習慣を確立し、思いやりのある心豊かな人格の育成を図る。
- 2 自らを律し、学習や部活動等に意欲的に取り組み、目標に向かって努力を惜しまない態度を育む。
- 3 地域との連携に努め、生徒一人一人を大切にしたいきめ細やかな指導を継続し、次代を担う有為な人材を育成する。

学校経営方針

- 1 「チーム静高」として、教職員の共通理解に基づく協働体制の継続・発展を進める。
- 2 育成すべき資質・能力を効果的に伸ばすような、カリキュラム・マネジメントの工夫・改善を図る。
- 3 積極的な授業改善と研修の機会の充実を図り、生徒の学びの質を高め、学力向上に努める。
- 4 教育相談的な指導実践に努め、生徒の自己肯定力を育成し、心の教育の充実を図る。
- 5 総合的な探究の時間の内容の充実を努め、組織的・計画的で実効性のあるキャリア教育を推進する。
- 6 コンプライアンスに基づく責務を果たし、継続的に教育公務員としての自覚を高める。
- 7 生徒や教職員の健康・安全はもとより、生徒のバランスのとれた生活や心身の成長に配慮するため、働き方改革の視点を盛り込んだ教育活動を推進する。

領域	対象	今年度の重点目標	目標実現のための評価の観点
教育活動	学習指導	○創意工夫した授業改善による学習指導の充実	☆主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の一層の充実により、生徒が何をどのように学ぶか、何ができるようになったかを把握している。
		○家庭学習の定着	☆日常的な課題提示の工夫と毎月の定点観測を効果的に活用して、家庭学習の習慣化を図っている。
	生徒指導	○多様性を尊重し、「いじめ」のない環境づくりの推進	☆優しさと思いやりの心を育み、共感的・共生的な人間関係を構築することで安全・安心な学校づくりをしている。
		○生活態度の健全化と人間的成長	☆基本的生活習慣や善悪の判断を身に付けさせ、自己肯定力や自己管理能力を育成している。
	進路指導	○実効性のあるキャリア教育の推進	☆きめ細かな個に応じた進路指導を行うとともに、計画的で組織的なキャリア教育に反映している。
		○積極的な進路情報の提供と共有化	☆校内外研修で理解を深めた最新の入試情報・就職情報を積極的に生徒及び保護者へ提供している。

学校運営	信頼される学校づくり	○学びたい、学ばせたい学校づくりの推進	☆地域社会・共生社会を担う人材育成という本校の社会的役割を発揮している。 ☆本校の教育活動や実践等を学校だよりやＨＰ等を通じ、家庭・地域へ適時かつ効果的に発振している。
		○効果的な中高連携推進	☆中学校訪問・学校説明会・生徒による学習支援等をとおして本校の「良さ」や「強み」を中学生や保護者・地域へ十分伝えている。
	組織運営	○協働体制による円滑な学校運営の実施	☆学校課題を共有し、年次・分掌が連携して協働体制により組織的・計画的に各運営事項を実践している。
		○カリキュラム・マネジメントの推進	☆育成を目指す資質・能力を明確化し、教育課程をＰＤＣＡサイクルに位置付けている。
	教職員の資質向上	○研修体制の充実	☆学校課題解決、指定事業及び教職員の資質向上に向けた研修報告及び校内研修を組織的・計画的に実施している。
		○服務規律保持の向けた取組の推進	☆通知や報道記事による迅速かつ適切な啓発を行うとともに、服務規律に対する意識をより一層高める実効性のある取組を実施している。